



フィリップ モリス ジャパン(PMJ)のサステナビリティ

煙のない社会を目指して

ミッション

紙巻たばこの終焉を加速する

取組み

今後も喫煙を続ける意思を持つ20歳以上の喫煙者を対象に紙巻たばこよりも害の少ないたばこやニコチン含有製品への切替えを促す

私たちの優先課題





煙の出ない製品で目指す社会課題の解決

1,800

か所以上
飲食店と共同で整備した
加熱式たばこ専用エリア

当社は、非喫煙者と20歳以上の喫煙者が心地よく暮らせる環境を目指すステークホルダーと知見を共有しながら喫煙環境の変革を進めています。当社組織内では、たばこ製品使用者を対象に禁煙に関する情報、そして紙巻たばこ喫煙者にはより良い代替品に関する情報を提供すると同時に、社内の紙巻たばこ喫煙所を廃止することで、煙のない社会の実現というビジョンを体現し、第三者機関からも認定^{*1}を受けました。

*1 TÜVオーストリアが提供するスモークフリーカルチャー認定



詳しくは [「サステナビリティレポート」P.14](#)



責任あるマーケティング・販売活動

3,456

人
当社の煙の出ない製品への切替えのための
基本ポリシーのトレーニングを受講した
従業員^{*2}および第三者^{*3}の数

当社のマーケティング活動は、20歳以上の喫煙者のみに当社製品を選択してもらうことを目的としており、非喫煙者や20歳未満の方を対象とすることはありません。

IQOS専門店では、入店の際に証明書による年齢確認を行っているほか、入店客の目につく場所に20未満の方々の入店をお断りするサインと、「当社の煙の出ない製品への切替えのための基本ポリシー」(GCP: Good Conversion Practice)を掲示することで、責任ある市販化を徹底しています。

*2 販売促進を中心的な業務内容とする部署に所属する従業員が対象

*3 IQOS専門店や加熱式たばこ専用室を備えた飲食店において加熱式たばこの販売促進活動に携わるスタッフ、コールセンターのスタッフが対象



詳しくは [「サステナビリティレポート」P.27](#)



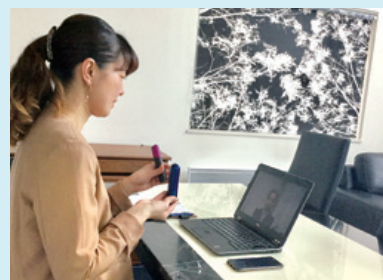
多様でインクルーシブな職場環境

27.1%

女性管理職^{*4}の割合

当社は、多様な従業員が健康で意欲的に働くことができる、インクルーシブな職場環境づくりに注力しています。特に、性別による待遇の差をなくすための積極的な取組みを継続し、性別に関係なく同一の労働に対して同一の賃金を払う企業として、2016年から2020年まで5年連続でEQUAL-SALARY Foundationの第三者評価によって認証を取得しています。今後も多様な才能が支える、強く、豊かで持続可能な組織を目指します。

*4 管理職とは社内規定における一定グレード以上の従業員を指し、部下を持たない場合もあります



詳しくは [「サステナビリティレポート」P.31](#)



環境保全と美化活動

6.77

トン
日本市場でリサイクル拠点に集められた
デバイスの総重量

消費者をはじめとするステークホルダーを巻き込みながら、使用済み製品の適切な処理と資源循環を促しています。日本では、保証期間中に返品された加熱式たばこデバイスを回収し、再資源化しています。現在、使用済み製品をより広範かつ効率的に回収する仕組みを検討しているところです。

また、吸い殻のポイ捨て防止を目指すWORLD CLEANUP DAYへの参加や、自治体や地域団体と連携した清掃活動を積極的に実施しています。



詳しくは [「サステナビリティレポート」P.38](#)